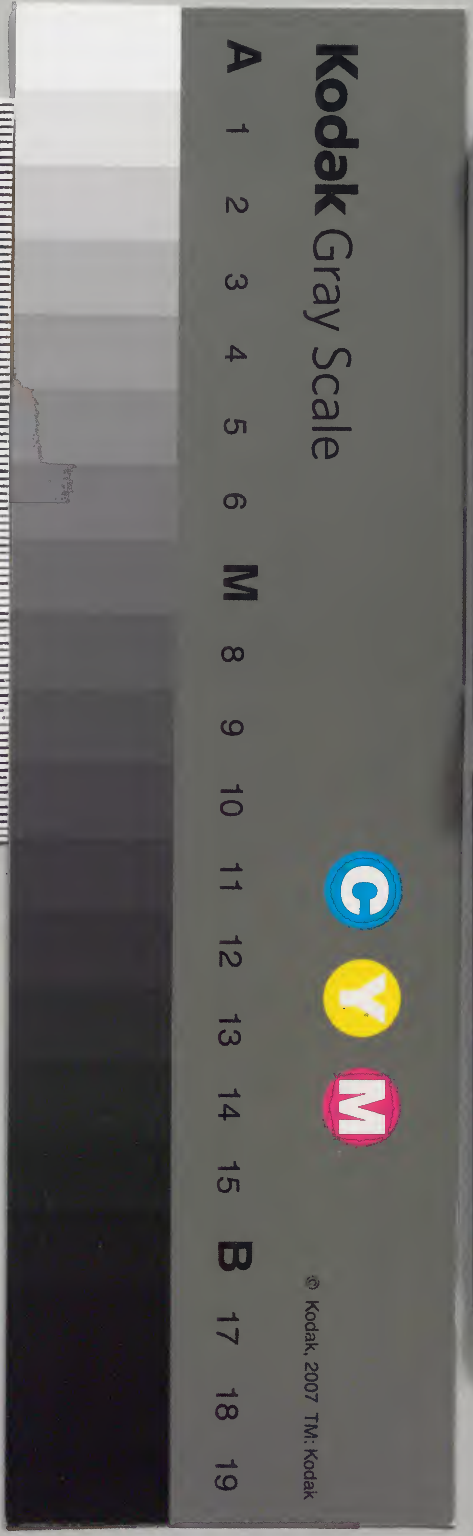




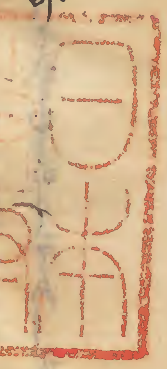
常盤集

和歌雜詠

内閣文庫	
番號	和 25497
冊數	3 (2)
函號	201 707



秋部



立秋

おろろ人おのりさのまじし夏のちりや秋のちりむ

立秋兩

ちりむらやちりむのあかしの秋のちりむらやちりむ

早秋

ちりむのちりむらやちりむのあかしの秋のちりむらやちりむ

名所

早秋

山早秋

幽衹

秋來

ちりむのちりむらやちりむのあかしの秋のちりむらやちりむ

残暑

七夕 日くさるる暑きあはれ けしきよき けしきよき
 七夕 けしきよき けしきよき けしきよき けしきよき
 七夕 けしきよき けしきよき けしきよき けしきよき
 七夕 けしきよき けしきよき けしきよき けしきよき
 七夕 けしきよき けしきよき けしきよき けしきよき
 七夕 けしきよき けしきよき けしきよき けしきよき
 七夕 けしきよき けしきよき けしきよき けしきよき
 七夕 けしきよき けしきよき けしきよき けしきよき

七廿四丁

七夕琴

七夕扇

七夕虫

旅中

七夕

七夕

萩

萩風

庭萩

七夕琴 けしきよき けしきよき けしきよき けしきよき
 七夕扇 けしきよき けしきよき けしきよき けしきよき
 七夕虫 けしきよき けしきよき けしきよき けしきよき
 旅中 けしきよき けしきよき けしきよき けしきよき
 七夕 けしきよき けしきよき けしきよき けしきよき
 七夕 けしきよき けしきよき けしきよき けしきよき
 萩 けしきよき けしきよき けしきよき けしきよき
 萩風 けしきよき けしきよき けしきよき けしきよき
 庭萩 けしきよき けしきよき けしきよき けしきよき

閑居菽

草花露

月前

草花

古郷

草花

秋

秋

秋

露

いづれもかきかへてはなほのうらみ
いかにしるべきかきかへてはなほのうらみ
いかにしるべきかきかへてはなほのうらみ
いかにしるべきかきかへてはなほのうらみ
いかにしるべきかきかへてはなほのうらみ
いかにしるべきかきかへてはなほのうらみ
いかにしるべきかきかへてはなほのうらみ
いかにしるべきかきかへてはなほのうらみ
いかにしるべきかきかへてはなほのうらみ
いかにしるべきかきかへてはなほのうらみ

常廿五丁

野菽

庭菽

薄

薄成垣

女郎花

雨中

朝貞

いづれもかきかへてはなほのうらみ
いかにしるべきかきかへてはなほのうらみ
いかにしるべきかきかへてはなほのうらみ
いかにしるべきかきかへてはなほのうらみ
いかにしるべきかきかへてはなほのうらみ
いかにしるべきかきかへてはなほのうらみ
いかにしるべきかきかへてはなほのうらみ
いかにしるべきかきかへてはなほのうらみ
いかにしるべきかきかへてはなほのうらみ
いかにしるべきかきかへてはなほのうらみ

田家
秋風

夕霧

山霧

川霧

夕月すれはるゝ風すれはるゝ

鶉
夜鴈
月前雁
月すれはるゝ風すれはるゝ
夕月すれはるゝ風すれはるゝ
夕月すれはるゝ風すれはるゝ
夕月すれはるゝ風すれはるゝ

常井七丁

雲間雁

海辺雁

田家雁

駒迎

待月

連夜
待月
對山
待月
月

夕月すれはるゝ風すれはるゝ
夕月すれはるゝ風すれはるゝ
夕月すれはるゝ風すれはるゝ
夕月すれはるゝ風すれはるゝ
夕月すれはるゝ風すれはるゝ
夕月すれはるゝ風すれはるゝ
夕月すれはるゝ風すれはるゝ
夕月すれはるゝ風すれはるゝ
夕月すれはるゝ風すれはるゝ
夕月すれはるゝ風すれはるゝ
夕月すれはるゝ風すれはるゝ
夕月すれはるゝ風すれはるゝ

老後
見月

つらき世にわが身をたもたせ給へば
おのれもたもたせ給へば
月夜にわが身をたもたせ給へば
おのれもたもたせ給へば
月夜にわが身をたもたせ給へば
おのれもたもたせ給へば
月夜にわが身をたもたせ給へば
おのれもたもたせ給へば
月夜にわが身をたもたせ給へば
おのれもたもたせ給へば

常共八丁

見月

月をみる人はいらぬ

深夜月
曉月
雨後月
雲間月
依月
持月
依月

つらき世にわが身をたもたせ給へば
おのれもたもたせ給へば
月夜にわが身をたもたせ給へば
おのれもたもたせ給へば
月夜にわが身をたもたせ給へば
おのれもたもたせ給へば
月夜にわが身をたもたせ給へば
おのれもたもたせ給へば
月夜にわが身をたもたせ給へば
おのれもたもたせ給へば

下弦月
九日
十三日

名所月

山月

松月

野月

常世丁

大なる月をいふてうつらうつらと見ゆる月
みちづねの月をいふてうつらうつらと見ゆる月
白き月の光をいふてうつらうつらと見ゆる月
山に月をいふてうつらうつらと見ゆる月
松の影に月をいふてうつらうつらと見ゆる月
野に月をいふてうつらうつらと見ゆる月

野曉月

野徑月

岡月

海上月

湖上月

河月

朝の光をいふてうつらうつらと見ゆる月
野の光をいふてうつらうつらと見ゆる月
岡の光をいふてうつらうつらと見ゆる月
海の上をいふてうつらうつらと見ゆる月
湖の上をいふてうつらうつらと見ゆる月
河の上をいふてうつらうつらと見ゆる月

河月如氷

滝月

江月

池月

橋月

楼月

関月

秋の月をうらみよもどきいづれて水川に流るる月字なるを
いふもまじき月をみれば月影の氷ひき収まらん川の水
小しみのいよをみればなまじき月をみればなまじき月
風あつたけいづりづの川のうらみもまじき月をみれば
あつたけいづりづの川のうらみもまじき月をみれば
ひらきもまじき月をみればなまじき月をみれば
つらき月をみればなまじき月をみればなまじき月を
あつたけいづりづの川のうらみもまじき月をみれば
秋の月をうらみよもどきいづれて水川に流るる月字なるを
いふもまじき月をみれば月影の氷ひき収まらん川の水
小しみのいよをみればなまじき月をみればなまじき月
風あつたけいづりづの川のうらみもまじき月をみれば
あつたけいづりづの川のうらみもまじき月をみれば
ひらきもまじき月をみればなまじき月をみれば
つらき月をみればなまじき月をみればなまじき月を
あつたけいづりづの川のうらみもまじき月をみれば

常世一丁

山家月

禁中月

口都月

古寺月

竹間月

月圓雲

おのころの月をうらみよもどきいづれて水川に流るる月字なるを
いふもまじき月をみれば月影の氷ひき収まらん川の水
小しみのいよをみればなまじき月をみればなまじき月
風あつたけいづりづの川のうらみもまじき月をみれば
あつたけいづりづの川のうらみもまじき月をみれば
ひらきもまじき月をみればなまじき月をみれば
つらき月をみればなまじき月をみればなまじき月を
あつたけいづりづの川のうらみもまじき月をみれば
おのころの月をうらみよもどきいづれて水川に流るる月字なるを
いふもまじき月をみれば月影の氷ひき収まらん川の水
小しみのいよをみればなまじき月をみればなまじき月
風あつたけいづりづの川のうらみもまじき月をみれば
あつたけいづりづの川のうらみもまじき月をみれば
ひらきもまじき月をみればなまじき月をみれば
つらき月をみればなまじき月をみればなまじき月を
あつたけいづりづの川のうらみもまじき月をみれば

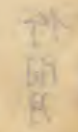
常世一丁

月前風



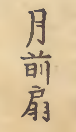
わづらわうれそとふ秋のそらにそよ風の光りし

月前露



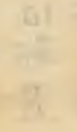
月はほこり水をそるにやそよの秋のそらにそよ

月前鐘



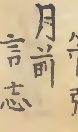
うきそらにそよの秋のそらにそよの鐘のそらに

月前扇



秋のそらにそよの秋のそらにそよの扇のそらに

月前



思ひあはれ月又の秋のそらにそよの秋のそらに

言志

常世三丁

月前

遠情

月前友

月秋友

秋友

鹿

ついでに秋のそらにそよの秋のそらにそよの

おのころの月又の秋のそらにそよの秋のそらに

ふと秋のそらにそよの秋のそらにそよの秋のそらに

秋のそらにそよの秋のそらにそよの秋のそらに

秋のそらにそよの秋のそらにそよの秋のそらに

秋のそらにそよの秋のそらにそよの秋のそらに

秋のそらにそよの秋のそらにそよの秋のそらに

秋のそらにそよの秋のそらにそよの秋のそらに

秋のそらにそよの秋のそらにそよの秋のそらに

秋のそらにそよの秋のそらにそよの秋のそらに

秋のそらにそよの秋のそらにそよの秋のそらに

秋のそらにそよの秋のそらにそよの秋のそらに

秋のそらにそよの秋のそらにそよの秋のそらに

秋のそらにそよの秋のそらにそよの秋のそらに

秋のそらにそよの秋のそらにそよの秋のそらに

秋のそらにそよの秋のそらにそよの秋のそらに

秋のそらにそよの秋のそらにそよの秋のそらに

夕鹿
夜鹿

こいこいのうらみかたかたはれぬさかきまはるき鹿さきあはる
うらみかたかたはれぬさかきまはるき鹿さきあはる
うらみかたかたはれぬさかきまはるき鹿さきあはる
うらみかたかたはれぬさかきまはるき鹿さきあはる
うらみかたかたはれぬさかきまはるき鹿さきあはる
うらみかたかたはれぬさかきまはるき鹿さきあはる
うらみかたかたはれぬさかきまはるき鹿さきあはる
うらみかたかたはれぬさかきまはるき鹿さきあはる
うらみかたかたはれぬさかきまはるき鹿さきあはる
うらみかたかたはれぬさかきまはるき鹿さきあはる

常世三丁

風前鹿
霧中鹿
山鹿

山家鹿

田家鹿
閑鹿
旅宿鹿
旅泊鹿
擣衣
夜擣衣
深夜
擣衣

小山田のうらみかたかたはれぬさかきまはるき鹿さきあはる
うらみかたかたはれぬさかきまはるき鹿さきあはる
うらみかたかたはれぬさかきまはるき鹿さきあはる
うらみかたかたはれぬさかきまはるき鹿さきあはる
うらみかたかたはれぬさかきまはるき鹿さきあはる
うらみかたかたはれぬさかきまはるき鹿さきあはる
うらみかたかたはれぬさかきまはるき鹿さきあはる
うらみかたかたはれぬさかきまはるき鹿さきあはる
うらみかたかたはれぬさかきまはるき鹿さきあはる
うらみかたかたはれぬさかきまはるき鹿さきあはる

名所
紅葉

葛

疎壁葛

柞

もよおしの目しふらり～わらわらりとらの空木やゆも
いあつ～わらわらるの杖君でねまのらささのまき糸
たひらるる葛のあやうきやさされてはあ～常と人やえん～む
杖ゆき～あつしとれをま～なまき～なまむつ～まは
あましの神のまふしゆらひしてゆらり～かて～て～
の電ふ～あつしとせのすは～まを～かて～て～あせあしゆの～あま
杖の～ひれ～あまふと～み～りれ～あつら～り～

秋夜

うあつ～あまあか～かて～み～り～れ～あつ～あまの～あまき～
い～あつ～あまあか～かて～七月の月～あつ～あまの～あま
月～あつ～あまあか～かて～あまの～あまき～あまの～あま

秋燈

秋雲

秋山

秋田

秋望

田家秋

田家

秋具

落軸

ノリのまき～あまあか～かて～あつ～あまの～あまき～杖の～あま
杖の～あまあか～かて～あまの～あまき～杖の～あま
杖の～あまあか～かて～あまの～あまき～杖の～あま
杖の～あまあか～かて～あまの～あまき～杖の～あま
杖の～あまあか～かて～あまの～あまき～杖の～あま
杖の～あまあか～かて～あまの～あまき～杖の～あま
杖の～あまあか～かて～あまの～あまき～杖の～あま
杖の～あまあか～かて～あまの～あまき～杖の～あま
杖の～あまあか～かて～あまの～あまき～杖の～あま
杖の～あまあか～かて～あまの～あまき～杖の～あま
杖の～あまあか～かて～あまの～あまき～杖の～あま

あふりにりんせうしうまのりくらまき入てふふふておにせりたり

暮秋

やちんまもあきあきわかれとふのりのをうまそりそりわかれしに

暮秋月

くれてあふりのくわいのそりふをうまそりわかれしに

あきあきわかれしにわかれしにわかれしにわかれしに

あきあきわかれしにわかれしにわかれしにわかれしに

あきあきわかれしにわかれしにわかれしにわかれしに

暮秋霞

白むとあけられしにわかれしにわかれしにわかれしに

常世七丁

冬部

初冬

あきあきわかれしにわかれしにわかれしにわかれしに

あきあきわかれしにわかれしにわかれしにわかれしに

あきあきわかれしにわかれしにわかれしにわかれしに

あきあきわかれしにわかれしにわかれしにわかれしに

あきあきわかれしにわかれしにわかれしにわかれしに

あきあきわかれしにわかれしにわかれしにわかれしに

あきあきわかれしにわかれしにわかれしにわかれしに

あきあきわかれしにわかれしにわかれしにわかれしに

あきあきわかれしにわかれしにわかれしにわかれしに

初冬 時雨 社頭 初冬 杜 初冬 田家 初冬

推柴
杜木枯
氷
朝氷
滝氷
湖氷
江氷
池氷
井氷

こゝに止まれば申すは推柴と云ふは神や云ふは
くはと云ふは神のつまらぬの申すは
くはと云ふは神のつまらぬの申すは
くはと云ふは神のつまらぬの申すは
くはと云ふは神のつまらぬの申すは
くはと云ふは神のつまらぬの申すは
くはと云ふは神のつまらぬの申すは
くはと云ふは神のつまらぬの申すは
くはと云ふは神のつまらぬの申すは

常里一丁

冬月

雲間

冬月

寒夜月

海辺
冬月

倉

綱代

大川
千鳥

こゝに止まれば申すは推柴と云ふは神や云ふは
くはと云ふは神のつまらぬの申すは
くはと云ふは神のつまらぬの申すは
くはと云ふは神のつまらぬの申すは
くはと云ふは神のつまらぬの申すは
くはと云ふは神のつまらぬの申すは
くはと云ふは神のつまらぬの申すは
くはと云ふは神のつまらぬの申すは
くはと云ふは神のつまらぬの申すは

浦子鳥

むらさきまねのうらたけのうらたけのうらたけのうらたけ

鳴子鳥

うらたけのうらたけのうらたけのうらたけのうらたけ

浮子鳥

うらたけのうらたけのうらたけのうらたけのうらたけ

水鳥

うらたけのうらたけのうらたけのうらたけのうらたけ

湖水鳥

うらたけのうらたけのうらたけのうらたけのうらたけ

池水鳥

うらたけのうらたけのうらたけのうらたけのうらたけ

常甲三丁

水鳥

鶯鶯 鶯鶯

鶯鶯 鶯鶯

霰

松川やうらたけのうらたけのうらたけのうらたけ

夜霰

うらたけのうらたけのうらたけのうらたけのうらたけ

雪

うらたけのうらたけのうらたけのうらたけのうらたけ

待雪

うらたけのうらたけのうらたけのうらたけのうらたけ

初雪

うらたけのうらたけのうらたけのうらたけのうらたけ

朝雲
夜雲
山雲
山路雲
遠山雲

夜の面はくまをうらやまされてよふ山をこつたうらやま
おほつたね水申月の光と母をいづらうね夜のまふ
一さつりうらやまを人よまをうらにまゆらうらうら
つれせわくまをうらまをうらまをうらまをうらまをうら
まをうらのまをうらまをうらまをうらまをうらまをうら
よあへうらまをうらのまをうらまをうらまをうらまをうら
ゆりつたまをうらのまをうらまをうらまをうらまをうら
うらまをうらのまをうらまをうらまをうらまをうらまをうら
ゆくまをうらのまをうらまをうらまをうらまをうらまをうら
まをうらのまをうらまをうらまをうらまをうらまをうら

常四三丁

ゆきうらやま

海辺雲

天をうらやまのまをうらまをうらまをうらまをうらまをうら
ゆきうらやまのまをうらまをうらまをうらまをうらまをうら
うらまをうらのまをうらまをうらまをうらまをうらまをうら

浦雲

ゆきうらやまのまをうらまをうらまをうらまをうらまをうら
ゆきうらやまのまをうらまをうらまをうらまをうらまをうら

滝辺雲

ゆきうらやまのまをうらまをうらまをうらまをうらまをうら
ゆきうらやまのまをうらまをうらまをうらまをうらまをうら

都雲

ゆきうらやまのまをうらまをうらまをうらまをうらまをうら
ゆきうらやまのまをうらまをうらまをうらまをうらまをうら

遠郷雲

ゆきうらやまのまをうらまをうらまをうらまをうらまをうら
ゆきうらやまのまをうらまをうらまをうらまをうらまをうら

抱

山家雪

社頭雪

庭雪

竹雪

行路雪

馬上雪

雲中鳥

甲巳きて物としらふらつてあつて心あけ

人めそわわいふたのせききりしつるのゆきと

わきとのつゆりのまゝかゝりておきかたつて

いしつれむけしむれりそむれりあふふき

きつてふいふたのまのまゝあふあふわ

あふあふあふあふあふあふあふあふあ

あふあふあふあふあふあふあふあふあ

あふあふあふあふあふあふあふあふあ

常田下

雲中

待人

まらふあひつるうああああああああああ

雲中

會友

あひつるあひつるあひつるあひつるあひつる

雲中

眺望

鷹狩

あひつるあひつるあひつるあひつるあひつる

雲中
鷹鳥狩

伊迎
伊迎
伊迎
會友

うきうきしんを志すけをいふのうきうき入るあつねをうき
うきうきしんを志すけをいふのうきうき入るあつねをうき
うきうきしんを志すけをいふのうきうき入るあつねをうき

うきうきしんを志すけをいふのうきうき入るあつねをうき
うきうきしんを志すけをいふのうきうき入るあつねをうき
うきうきしんを志すけをいふのうきうき入るあつねをうき

炭竈
神樂

うきうきしんを志すけをいふのうきうき入るあつねをうき
うきうきしんを志すけをいふのうきうき入るあつねをうき
うきうきしんを志すけをいふのうきうき入るあつねをうき

常四五丁

五節

うきうきしんを志すけをいふのうきうき入るあつねをうき
うきうきしんを志すけをいふのうきうき入るあつねをうき
うきうきしんを志すけをいふのうきうき入るあつねをうき

豊明
佛名
早梅

椿

うきうきしんを志すけをいふのうきうき入るあつねをうき
うきうきしんを志すけをいふのうきうき入るあつねをうき
うきうきしんを志すけをいふのうきうき入るあつねをうき

冬日

冬朝

冬夢

冬所冬

冬山

冬山家

冬海

冬川

冬舟

冬 日 何れもあつてはまゝに 冬の日もあつてはまゝに 冬の日もあつてはまゝに
 冬 朝 冬朝の雪もあつてはまゝに 冬朝の雪もあつてはまゝに 冬朝の雪もあつてはまゝに
 冬 夢 冬夢の雪もあつてはまゝに 冬夢の雪もあつてはまゝに 冬夢の雪もあつてはまゝに
 冬 所 冬所冬 冬所冬 冬所冬 冬所冬 冬所冬 冬所冬 冬所冬 冬所冬 冬所冬 冬所冬
 冬 山 冬山 冬山 冬山 冬山 冬山 冬山 冬山 冬山 冬山 冬山
 冬 山 家 冬山家 冬山家 冬山家 冬山家 冬山家 冬山家 冬山家 冬山家 冬山家
 冬 海 冬海 冬海 冬海 冬海 冬海 冬海 冬海 冬海 冬海
 冬 川 冬川 冬川 冬川 冬川 冬川 冬川 冬川 冬川 冬川
 冬 舟 冬舟 冬舟 冬舟 冬舟 冬舟 冬舟 冬舟 冬舟 冬舟

常聖六丁

冬鐘

冬鳥

冬釈教

待春

依花 待春

歳暮

冬 鐘 入ちのりてはまゝに 冬鐘の音もあつてはまゝに 冬鐘の音もあつてはまゝに
 冬 鳥 冬鳥の音もあつてはまゝに 冬鳥の音もあつてはまゝに 冬鳥の音もあつてはまゝに
 冬 釈 教 冬釈教の音もあつてはまゝに 冬釈教の音もあつてはまゝに 冬釈教の音もあつてはまゝに
 待 春 待春の音もあつてはまゝに 待春の音もあつてはまゝに 待春の音もあつてはまゝに
 依 花 依花の音もあつてはまゝに 依花の音もあつてはまゝに 依花の音もあつてはまゝに
 待 春 待春の音もあつてはまゝに 待春の音もあつてはまゝに 待春の音もあつてはまゝに
 歳 暮 歳暮の音もあつてはまゝに 歳暮の音もあつてはまゝに 歳暮の音もあつてはまゝに

年
立
春

市中
年
立
春

うきうきいふ言のまされぬやうに
申すにうしの言をよみててあつと
月をうらなひの言をよみててあつと
うきうきいふ言をよみててあつと

うきうきいふ言のまされぬやうに
申すにうしの言をよみててあつと
月をうらなひの言をよみててあつと
うきうきいふ言をよみててあつと

追
難

うきうきいふ言のまされぬやうに
申すにうしの言をよみててあつと
月をうらなひの言をよみててあつと
うきうきいふ言をよみててあつと

常
平
八
丁

戀
部

恋

うきうきいふ言のまされぬやうに
申すにうしの言をよみててあつと
月をうらなひの言をよみててあつと
うきうきいふ言をよみててあつと

初
恋

うきうきいふ言のまされぬやうに
申すにうしの言をよみててあつと
月をうらなひの言をよみててあつと
うきうきいふ言をよみててあつと

忍恋

あはれなる恋の心は
くちまへとちかひなく
さあせぬ心は
あはれなる恋の心は
くちまへとちかひなく
さあせぬ心は
あはれなる恋の心は
くちまへとちかひなく
さあせぬ心は
あはれなる恋の心は
くちまへとちかひなく
さあせぬ心は

互忍恋
不言恋

見恋

初見恋

常平九丁

夢見恋

通書恋

顕恋

尋恋

不知
拙恋

久恋

あはれなる恋の心は
くちまへとちかひなく
さあせぬ心は
あはれなる恋の心は
くちまへとちかひなく
さあせぬ心は
あはれなる恋の心は
くちまへとちかひなく
さあせぬ心は
あはれなる恋の心は
くちまへとちかひなく
さあせぬ心は
あはれなる恋の心は
くちまへとちかひなく
さあせぬ心は

相思

斥思

見増恋

見書

偽恋

変恋

悔恋

人きぬく思ひはなほの思ひなり
わづらひて思ふはなほの思ひなり
しつゝ思ふはなほの思ひなり
しつゝ思ふはなほの思ひなり
しつゝ思ふはなほの思ひなり
しつゝ思ふはなほの思ひなり
しつゝ思ふはなほの思ひなり
しつゝ思ふはなほの思ひなり
しつゝ思ふはなほの思ひなり
しつゝ思ふはなほの思ひなり

常五十一丁

恨恋

互恨恋

絶恋

被忘恋

初恋

老恋

恋思

わづらひて思ふはなほの思ひなり
わづらひて思ふはなほの思ひなり
わづらひて思ふはなほの思ひなり
わづらひて思ふはなほの思ひなり
わづらひて思ふはなほの思ひなり
わづらひて思ふはなほの思ひなり
わづらひて思ふはなほの思ひなり
わづらひて思ふはなほの思ひなり
わづらひて思ふはなほの思ひなり
わづらひて思ふはなほの思ひなり

寄米恋

寄山恋

寄松恋

寄橋恋

寄川恋

寄木恋

寄草恋

寄屋恋

常辛三丁

わさみ草をばなすつらさのむらにやまてつれなき中川の

つらさをばなすつらさのむらにやまてつれなき人のあはれも

わさみ草をばなすつらさをばなすつらさをばなすつらさを

ゆくりのむらにやまてつらさをばなすつらさをばなす

あはれもつらさをばなすつらさをばなすつらさをばなす

つらさをばなすつらさをばなすつらさをばなすつらさを

あはれもつらさをばなすつらさをばなすつらさをばなす

つらさをばなすつらさをばなすつらさをばなすつらさを

あはれもつらさをばなすつらさをばなすつらさをばなす

つらさをばなすつらさをばなすつらさをばなすつらさを

あはれもつらさをばなすつらさをばなすつらさをばなす

寄鳥恋

寄雁恋

寄魚恋

寄虫恋

寄堂恋

寄夜恋

おそろしき鳥をばなすつらさをばなすつらさをばなす

つらさをばなすつらさをばなすつらさをばなすつらさを

あはれもつらさをばなすつらさをばなすつらさをばなす

つらさをばなすつらさをばなすつらさをばなすつらさを

あはれもつらさをばなすつらさをばなすつらさをばなす

つらさをばなすつらさをばなすつらさをばなすつらさを

あはれもつらさをばなすつらさをばなすつらさをばなす

つらさをばなすつらさをばなすつらさをばなすつらさを

あはれもつらさをばなすつらさをばなすつらさをばなす

つらさをばなすつらさをばなすつらさをばなすつらさを

あはれもつらさをばなすつらさをばなすつらさをばなす

つらさをばなすつらさをばなすつらさをばなすつらさを

寄帯恋

寄枕恋

寄琴恋

寄笛恋

寄扇恋

寄舟恋

寄筵恋

みよのちひさしきりやうりて後とくもきしつらうらら
ついでとまふもなほなほのうらなまきつらうらら
ついでとまふもなほのうらなまきつらうらら
かへつらふもなほのうらなまきつらうらら
あつらふもなほのうらなまきつらうらら
あつらふもなほのうらなまきつらうらら
あつらふもなほのうらなまきつらうらら
あつらふもなほのうらなまきつらうらら
あつらふもなほのうらなまきつらうらら
あつらふもなほのうらなまきつらうらら

常楽丁

寄弓恋

人

人

人

人

人

人

人

ついでとまふもなほのうらなまきつらうらら
ついでとまふもなほのうらなまきつらうらら
ついでとまふもなほのうらなまきつらうらら
ついでとまふもなほのうらなまきつらうらら
ついでとまふもなほのうらなまきつらうらら
ついでとまふもなほのうらなまきつらうらら
ついでとまふもなほのうらなまきつらうらら
ついでとまふもなほのうらなまきつらうらら
ついでとまふもなほのうらなまきつらうらら
ついでとまふもなほのうらなまきつらうらら

